

### 働く人にやさしい鉄構業に



長野県鐵構事業協同組合  
理事長 飯島 正博

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃は長野県鐵構事業協同組合の事業並びに、会員企業に対してご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、年間を通して新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、一時期先の見えない閉塞感におそわれました。日本でも緊急事態宣言が発令されて、移動や外出の自粛、学校の休校、店舗の営業制限などにより、経済・社会活動の停滞を引き起こしました。鉄構業界も、工事の延期や中断・中止などもみられ、各社は仕事量の減少を受注残のやりくりで補って、コロナの影響は、当初最小限にとどまっていたましたが、秋口以後、工場や店舗などの新規工事の減少が散見されるようになり、仕事量の減少と、一方では鋼材価格の上昇も相まって、厳しさが増えています。

また、組合員各社が若手育成に取り組む中、年々受験生が増加してきた「構造物鉄工」と「とび」の技能検定が中止となり、検定に向けた学

科講習会や実技指導といった組合主要事業を中止せざるをえませんでした。今年は昨年受験の機会を逸してしまった受験生の為にも、新型コロナウイルス対策とのバランスを取りながら、教育事業に関わる組合員の皆様の協力を得て、コロナ禍の中で、適切な運用の下で開催されることを望んでおります。

また昨年、労働安全衛生施行令の改正があり、鉄構関連としては、溶接作業で発生する「溶接ヒューム」が特定化学物質に位置づけられました。一部には、今年4月からの実施が求められる内容も含まれており、発令から僅か一年での実施に対しての不安や混乱もあり、そしてまだまだ周知が不十分な所から、業界としての説明会を早急に開催したいと考えています。労働者の安全と健康を確保するためにも、しっかりと対策に取り組む必要があると考えています。

鉄構業が働く人にやさしい魅力ある業界として、認知されるようにこれからも取り組んでまいります。本年も、変わらぬご指導・ご協力をお願い致します。皆様のご健勝とご多幸を御祈念申し上げます。

